

# 児童生徒の確かな学力を育む市町村の取組み

令和5年2月  
山形県教育委員会

※ 成果をあげている7市町村（山形市、寒河江市、村山市、戸沢村、大蔵村、川西町、三川町）への聞き取りから（令和4年11月実施）

## 「成果をあげている学校」における取組み

全国学力・学習状況調査等により現状を把握・分析し、授業づくりにフィードバック

### 授業づくりで大切にしていること

以下の基本的なことを毎時間積み重ねることを意識している。

- 本時の課題を確認する。
  - ・児童生徒一人ひとりが課題をつかみ、考える時間を十分に確保している。
- 課題の解決方法を見通す。
  - ・前時までの内容とのつながりを考える時間を設けている。
  - ・解決のための見方・考え方を全体で確認し、見通しを立てるようにしている。
- 各教科等の見方・考え方を働かせた活動により、学びを広げたり深めたりする。
  - ・「個→集団→個」という流れを毎時間のスタンダードにしている。
  - ・分からないと言える雰囲気づくり、互いに聞き合える関係づくりを土台にして、相手を意識した説明ができるようにしている。
- まとめと振り返りを充実する。
  - ・形成的評価の時間を単元に位置付け、児童生徒の学びの自覚化を図っている。



### ICTの日常的な利活用について

- 学習者用端末等の活用
  - ・図や写真、映像でイメージをもたせたり、考え方の共有を図ったりしている。
- 学びを止めない工夫
  - ・一人一台端末を毎日持ち帰り、AIドリル等で児童生徒が理解度に合わせて家庭学習を実施している。
  - ・非常時でも授業を配信し、質問があればチャット等で質問できる環境をつくっている。



### 研究体制づくりで大切にしていること

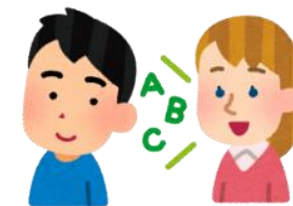
- 協働的に深める教材研究
  - ・学年部や各教科等で、事前検討会を行い、全体研究会に臨んでいる。
  - ・日常的に「児童生徒による深い学び」という視点で授業づくりについて重点的に協議している。

## 「成果をあげている市町村教育委員会」における取組み

小:「放課後学習支援員」、中:「学力向上アドバイザー」の派遣  
・定期的に学習会等を実施し、基礎・基本の充実を図っている。

### 中学校区ごとの小中合同部会の設置

- ・育成すべき資質・能力を部会で話し合い、児童生徒とも共有している。



### 親子英語教室の開催

- ・地域学校協働本部が中心となり、英語好きな子供の育成を目指している。

### 域内の全小学校教員による学年部会

- ・(算数) 単元ごと、指導の重点について話し合っている。

### ICTのCAN-DOリストの作成・活用

- ・基本となるICTのCAN-DOリストを作成し、各学校が実態に合わせて編集しながら、活用している。

### 幼保小中プログラムの作成・活用

- ・幼保小中が一貫して連携し、教育観の共有化を図っている。

### 域内共通学力調査の実施(小5、中2)

- ・調査結果を一人一台端末のAIドリルに反映させ、一人ひとりに応じた学び直し等に生かしている。

※ 取組みに関するご質問等は、教育事務所を通して義務教育課にお問い合わせください。